

三七一六番

天雲あまくもの たゆたひ来くれば 九月ながつきの 黄葉もみちの山やまも
うつろひにけり

三七一七番

旅たびにても 喪もなくはや来こと 我わぎ妹も子こが 結むすびし紐ひも
は なれにけるかも

筑紫つくしを廻めぐり来き、海路うみつちにて京みやこに入いらむとし、播はり
磨国まのくにの家島いへしまに至いたりし時ときに作つくる歌うた五首

三七一八番

家島いへしまは 名なにこそありけれ 海原うなはらを 我あが恋こひ来き
つる 妹いももあらなくに

三七一九番

草枕くさまくら 旅たびに久ひさしく あらめやと 妹いもに言いひしを
年としの経へぬらく